

再意見提出者	一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会
--------	-----------------------

意見項目	意見内容
(1) ワイヤレスブロードバンドの今後の展望(2015 年ごろや 2020 年ごろのワイヤレスブロードバンドのサービスイメージ、システムイメージなど)	
(2) ワイヤレスブロードバンドを実現するための課題(周波数の確保、国際標準化・研究開発の推進、利用環境の整備)	<p>【１】研究開発の推進と政府による支援を期待します。</p> <p>（１）研究開発はメーカの成長の根源であり、自助努力により、取り組んでおりますが、２０２０年ワイヤレスブロードバンド実現に向けて、我が国として、厳しいグローバル競争に打ち勝つ為に、国の支援・公的機関による研究開発がより一層重要と考えます。総務省様の資料の「ＩＣＴ分野の研究費の動向」を見ても、欧米では、厳しい状況にあっても、政府によるＩＣＴ分野の研究開発支援は強化されておりますが、我が国の実態は、むしろマイナスとなっています。</p> <p>（２）ぜひとも、新成長戦略・２１の国家戦略プロジェクトにおける「研究開発（Ｒ＆Ｄ）の拡充」に示された、「２０２０年までに官民併せた研究開発費を、ＧＤＰ比４％以上に高める」という達成目標に見合った予算措置を期待するところであります。</p> <p>【２】周波数の確保における国際協調について長期的視点に立って検討することも必要と考えます。</p> <p>（１）グローバルハーモナイゼーションは、長期的な視点で、容易に移行できる周波数割当が可能であれば、検討するべきと考えます。</p> <p>（２）例えば、第４世代携帯電話について、国際競争力強化のためにも各国との協調が必要であり、総務省ならびに関係者が多大なご尽力をいただいておりますが、引き続き、我が国の主導性が求められると考える次第であります。</p> <p>なお、加えまして、機器開発とタイムリーな商品化に向けて、本ワーキンググループでの検討結果が具体的かつ明確な形で、方向付けられ、その結果が周波数政策や政策に遅滞なく反映されることを強く要望いたします。</p>
(3) 関連する国内外の動向と課題	

(4) その他、将来のワイヤレスブロードバンドによるサービスやシステムに関する事項	

複数のサービスやシステムについてご回答される場合は、それぞれ別々のフォーマットに記入してください（できるだけイメージ図等を加えてください。）。

意見募集において寄せられた意見に対する意見

No.	意見提出者	寄せられた意見に対する意見内容